

大きく神奈川県を動かした提案 その2

平成 27 年 9 月 1 日現在で都内にお住まいの方々に、配布↓

右は一昨年、東京都ですべての世帯に配布を行った「東京防災」です。

これを神奈川県でも東京都と同じように、全件配布を私が議員という立場になってから県に求め続けてきたものです。今回一年半、提言し続けた結果「減災対策啓発事業費・8500 万円」を 29 年度予算に計上して頂き 3 月の予算議会を通過し実現可能となったものです。この内容や予算規模についても今回 6 月議会の代表質問で取り上げてもらい、進捗状況が答弁されました。東京都では約 20 億円で作成したものが本県では半分以下の 8500 万円であり、その差については、タウンページと共同で



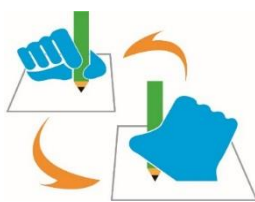
作成・配布しコストを大幅に削減できる旨が報告されました。またタウンページと共同作成であることから、より地域ごとの密着した内容が盛り込めることがメリットであり、現在タウンページが届いていない世帯にもきちんと配布するように調整ができました。東京都ほど、分厚い物ではありませんが神奈川県内全世帯へ保管用として『防災タウンページ』を今年 11 月配布に向け最終調整を行っています。

地元(瀬谷区)での提案 8 月 5 日より共生社会の実現に向け商店街で第一歩

手話マーク



筆談マーク



瀬谷区の商店街で共生社会の実現に向けた取り組みをお願いした所、まず三ツ境商店街でアンケート調査やヒアリング、研修等を行い、全日本ろうあ連盟が推奨する「手話マーク」「筆談マーク」を一部の店舗で設置導入して頂ける事が決まりました。このマークを店舗の外に掲示し、聴覚障がい者の方が入店しやすい環境の確保と筆談マークがある店舗では、店内に筆談ができるホワイトボードを設置して頂くなど商店街で共生社会の実現に向け 8 月 5 日(土)19 時 30 分から式典を行い、取り組みがスタートいたしました。

県営住宅のアスベスト問題についての報告

発がん性のある、アスベストが使われていた公営住宅(県営住宅等)が全国で少なくとも 2 万 2 千戸に上るとする調査結果を 6 月下旬に NHK が公表しました。調査では公営住宅に居住していた 23 万人余りがアスベストを吸い込んだ可能性があるとされ、国や自治体はこうした実態を把握していないと指摘されました。



この報道を受け直ぐに担当局に、この問題を調査させ現状と今後の対応について見解を求め

ました。 回答『本県は県営住宅 9 団地(現在は 4 団地が取壊され 5 団地のみ)で、吹きつけアスベストが住宅の天井などに使用されていることを確認し、平成元年 3 月までに飛散防止対策を行いその後、平成 17 年・20 年度には対策工事後の状況を点検し必要な補修は済ませています。この報道を受け飛散防止対策を行った箇所に劣化や破損がないか、入居者のご了承を頂きながら 7 月までに完了しています。』との回答でした。

また、私は瀬谷区選出の県議会議員として、瀬谷区内の県営住宅に対し調査を別途要求した結果、瀬谷区内における県営住宅ではアスベストの使用は、一切ないことの調査結果報告を受けました。

神奈川県議会議員(瀬谷区選出)

田村 ゆうすけ

- ・ 自由民主党政務調査会 副会長
- ・ 防災警察常任委員会 委員

・瀬谷区阿久和西 2 丁目在住

・習い事 手話教室

・4人男兄弟の長男

・家族は妻、娘 3 人

・1980 年 11 月 29 日宮城県仙台市生まれ

・衆議院議員 さかい学の秘書を経て

2015 年 4 月 神奈川県議選に初当選



<http://tamura-y.com/>

田村ゆうすけ

で検索

